

岡安証券

= 注目・外株銘柄 =

(2025年9月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【セキュリティ】 クラウドフレア (NET)
P2【フィンテック】 ロビンフッド・マーケットズ (HOOD)

<継続>

- P3【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)
P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)
P5【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)
P6【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)
P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)
P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)
P9【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)
P10【半導体】 台湾セミコンダクターADR (TSM)
P11【半導体】 ブロードコム (AVGO)
P12【ソフトウェア】 オラクル (ORCL)
P13【ITサービス】 IBM (IBM)
P14【動画配信】 ネットフリックス (NFLX)
P15【航空・防衛】 RTX (RTX)
P16【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ (PLTR)
P17【電力設備】 GEベルノバ (GEV)
P18【公益】 ビストラ (VST)
P19【金融】 JPモルガン・チェース (JPM)
P20【製薬】 ファイザー (PFE)

(株価データ、株価指標は現地2025年8月28日現在)

<新規>

インターネット上の通信高速化・セキュリティ分野で躍進
若者を惹きつける株式等の総合金融プラットフォーム

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体 (GPU) 開発企業
ソフトウェア世界最大手
デジタルIT機器の設計・販売大手
インターネット検索世界最大手
インターネット小売世界最大手
SNS運営世界最大手
米電気自動車 (EV) 大手
半導体受託製造の世界最大手
企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進
長年の連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
動画配信の世界最大手
航空宇宙・防衛まで手掛ける巨大コングロマリット
防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌
GEから分離した電力設備の世界大手
総合金融サービス最大手
コスト削減計画を推進中の米製薬大手

会社概要

Webサイトの脅威や攻撃からの保護、通信遅延の排除による高速化サービスを提供する米IT企業。Webサイトのトラフィックを同社のグローバルネットワークに回送・経由させることで、Webページ配信の最適化や脅威のブロックを自動で行う。APIファーストの考え方で開発者向けに設計。25年6月末時点で26万超の有料顧客を抱えるまで成長。本社はカリフォルニア州サンフランシスコ、2019年9月にNY証券取引所に上場。

- 注目ポイント
- **独自のネットワークが強み**：125カ国335都市超に独自のネットワークを保有。全てのサーバーで全サービスを実行できる単一のプログラム可能なプラットフォームが特長で、顧客は各種製品を統合してコスト削減や俊敏性向上を実現できる。ポルシェ、キャンバ、ウーバーなどが同社の顧客。
 - **AI時代の成長戦略**：AIの次なる潮流「エージェント」の最適プラットフォームと見なされ、既に1,300社超のAI企業が顧客となっている。25年は営業体制の変革を続け、開発者向け専門組織「スピートボート」を立ち上げるなど、エンタープライズ市場の開拓を強化し2028年までの売上高50億ドル達成を目指している。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	213.42 (08/28)
52週高値(日付)	219 (25/08/07)
52週安値(日付)	74.89 (24/09/10)
時 価 総 額	744億ドル 10兆9,276億円
株価変化率(%)	46.9 (過去6ヶ月間) 167.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	39.1 (倍)
PBR	60.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.69 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	1,297	33	-185	赤継	-184	赤継	-0.55	0.00
2024/12	1,670	29	-155	赤継	-79	赤継	-0.23	0.00

四半期業績								
2024/Q2	401	—	-35	—	-15	—	-0.04	0.00
2025/Q2	512	28	-67	赤継	-50	赤継	-0.15	0.00

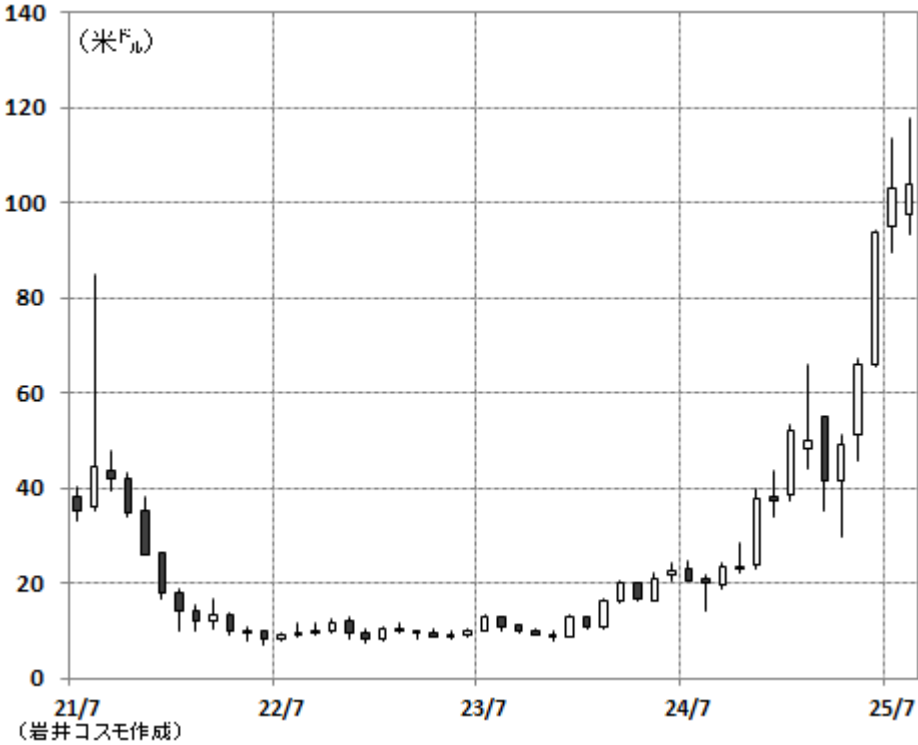
米国の若者を惹きつける株式・仮想通貨等の総合金融プラットフォーマー

会 社 概 要

手数料無料の株式・ETF・暗号資産取引アプリを提供するフィンテック企業。「金融の民主化」を掲げ、直感的なアプリでミレニアル・Z世代の投資参入のハードルを下げた。顧客の注文をマーケットメーカーに回送する見返りに対価を得るPFOF(ペイメント・フォー・オーダー・フロ-)を主な収益源とするビジネスモデルを特徴とする。本社はカリフォルニア州メンロ・パーク、24年末の社員数は約2,300名、2021年7月にナスダックに上場。

注 目 ポ イ ン ト

- **多様な商品提供で若年層を開拓**：株式に加え仮想通貨、オプション、IRA(個人退職勘定)などのサービスを多角化。直感的でゲームのようなアプリがミレニアル・Z世代の支持を集め、個人投資の民主化を象徴するブランドとして高い知名度を誇る。
- **仮想通貨取引が収益の大きな柱に**：仮想通貨市場の活況により、ユーザー取引が活発化し、関連収益が急増。24年後半からの25年前半にかけての決算では前年同期比で数倍に増加、総収益の30%超を占める四半期も見られ、最大の業績牽引役となっている。6月にはEUで株式トークンの提供を開始、米国以外の展開も進めている。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	103.69 (08/28)
52週高値(日付)	117.69 (25/08/12)
52週安値(日付)	18.71 (24/09/06)
時 価 総 額	921億ドル 13兆5,391億円
株価変化率(%)	107.0 (過去6ヶ月間) 410.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	53.6 (倍)
株価売上高比率	25.7 (倍)
PBR	11.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.5 (%)
株式ベータ	2.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	1,865	35	-533	赤継	-541	赤継	-0.61	0.00
2024/12	2,951	58	1,064	黒転	1,411	黒転	1.56	0.00
四半期業績								
2024/Q2	682	—	191	—	188	—	0.21	0.00
2025/Q2	989	45	442	131	386	105	0.42	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

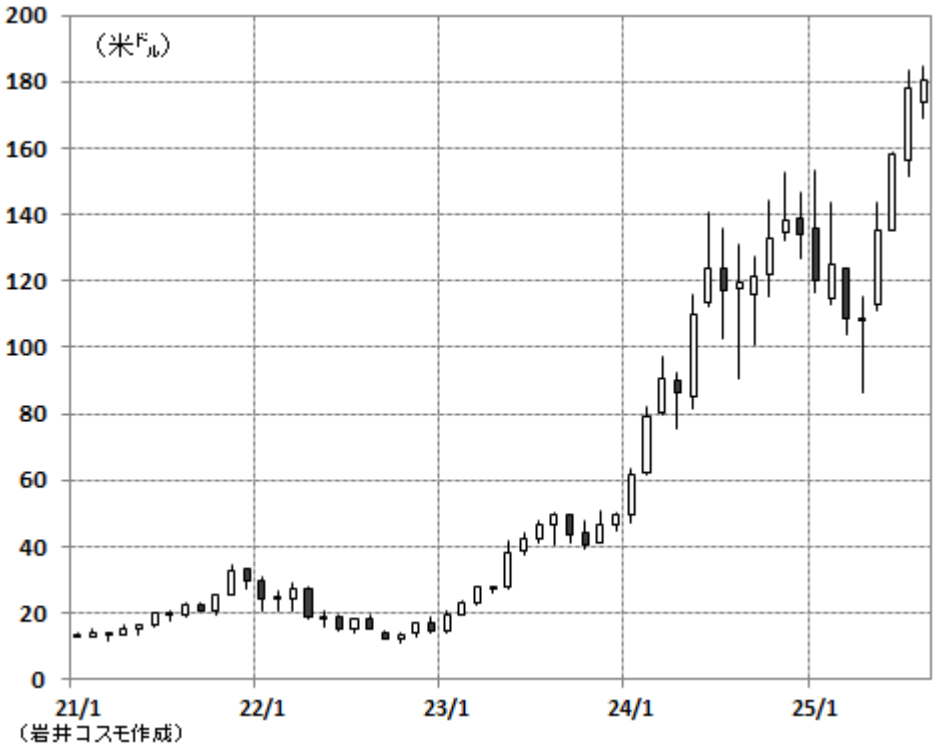
会 社 概 要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AI半導体で主導権**：AIの計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発する。5-7月期は主力GPUブラックウェル関連データセンター収益は前期比17%成長。最新GPUブラックウェル・ウルトラの需要も高く状態で量産出荷を開始。

□ **中国向けAI用半導体再出荷が棚上げ**：中国向けAI半導体「H20」の出荷再開は結局、地政学的問題で実現せず、売上ゼロとなった。8-10月期に問題が解決すれば20億-50億ドルに達する見込みとしたが公式見通しに含めなかった。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
四半期業績								
2025/Q2	30,040	—	18,642	—	16,599	—	0.67	0.010
2026/Q2	46,743	56	28,440	53	26,422	59	1.08	0.010

株価データ		株価指標(バリュエーション)	
株 価(米ドル)	180.17 (08/28)	実績PER	52.7 (倍)
52週高値(日付)	184.46 (25/08/28)	株価売上高比率	26.7 (倍)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)	PBR	43.8 (倍)
時 価 総 額	4兆3,781億ドル 643兆2788億円	税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
株価変化率(%)	44.2 (過去6ヶ月間) 43.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	81.8 (過去1年間)
		株主資本利益率(ROE)	109.4 (%)
		株式ベータ	1.89 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

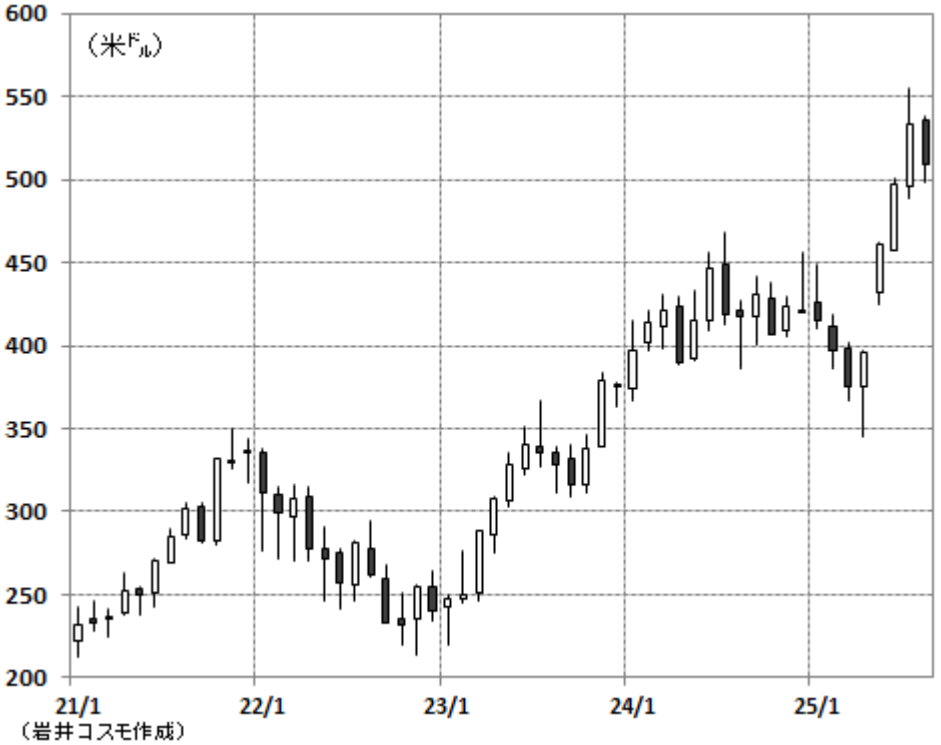
ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

会 社 概 要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注 目 ポ イ ン ト

- **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役となっている。
- **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。4-6月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸び(除く・為替変動)は、AI用データセンター拡充に伴って前年同期比39%増と成長加速。同社製品全体でAI機能の利用客が8億人に上ることを明らかにした。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	509.64 (08/28)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時 価 総 額	3兆7,882億 ^{ドル} 556兆6059億円
株価変化率(%)	28.4 (過去6ヶ月間) 24.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.2 (倍)
株価売上高比率	13.4 (倍)
PBR	11.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.65 (直近年率)
配当成長率(%)	10.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.3 (%)
株式ベータ	0.98 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.32
四半期業績								
2024/Q4	64,727	—	27,925	—	22,036	—	2.95	0.75
2025/Q4	76,441	18	34,323	23	27,233	24	3.65	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

社 名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上 場 市 場

ナスダック

セ ク タ ー

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

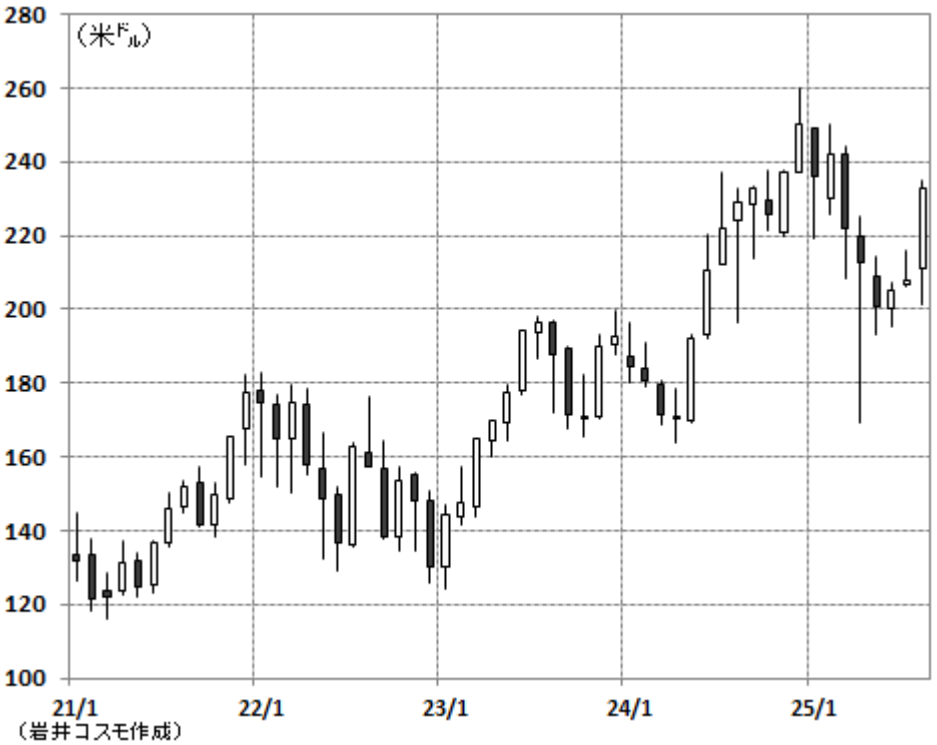
会 社 概 要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□ **アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を4月1日より提供開始した。ただより高度な分析機能は米国でも未提供で競合のオープンAIやグーグルに後れを取っている。6月開催の年次開発者会議では、電話やフェイスタイムのライブ翻訳機能が発表された。

□ **国内投資で関税回避**: 4-6月期のアイフォン販売は駆け込み需要もあり、前年同期比13%増と力強い回復を見せた。8月6日のトランプ政権の半導体100%関税方針に対し、累計6000億ドルの米国内追加投資を同時発表し適用除外を獲得。スマホ関税を巡って最大の懸念材料が払拭され、今後の視界が良好となった。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	232.56 (08/28)
52週高値(日付)	260.09 (24/12/26)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時 価 総 額	3兆4,513億ドル 507兆0967億円
株価変化率(%)	-3.8 (過去6ヶ月間) 2.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	32.0 (倍)
株価売上高比率	8.6 (倍)
PBR	52.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.45 (直近年率)
配当成長率(%)	4.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	149.8 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.94
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98

四半期業績								
2024/Q3	85,777	—	25,352	—	21,448	—	1.40	0.25
2025/Q3	94,036	10	28,202	11	23,434	9	1.57	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

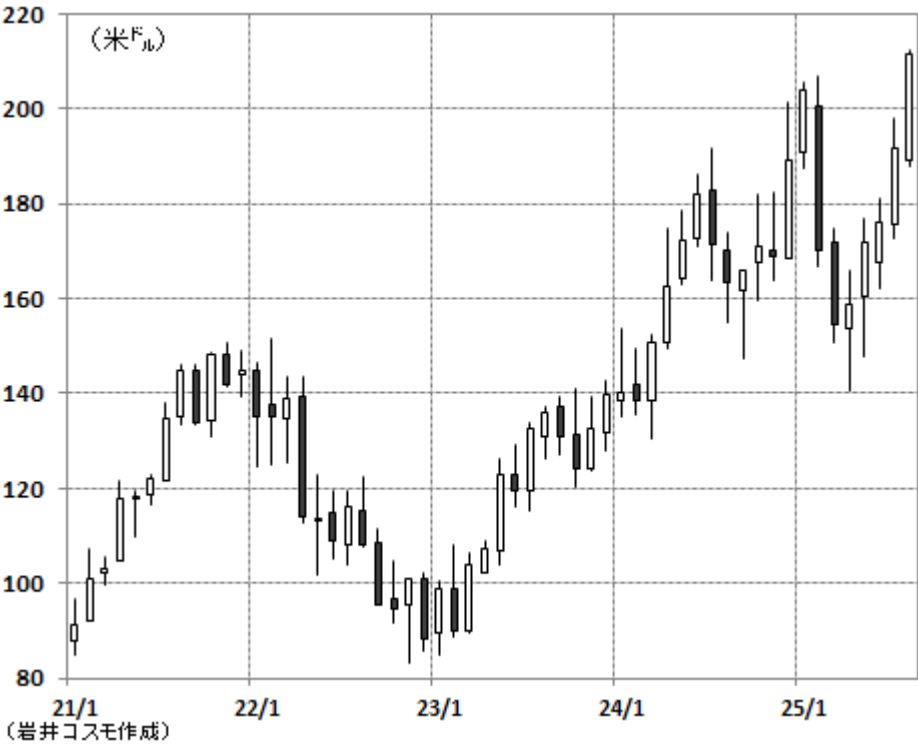
インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

会 社 概 要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は187,103人(25年6月末)。

注 目 ポ イ ン ト

- **複数のAI製品を積極展開**：生成AIは「Gemini 2.5」ファミリーの安定版が提供され、スマートフォンやクラウド製品、スマートウォッチへの実装が加速。検索のAI返答機能「AIオーバービュー」は月間15億人が利用。サブスク事業はYouTube有料会費などが好調で、有償契約数は拡大を続ける。また無人ロボタクシーのウェイモは、米国で週25万回以上の有料乗車を達成しつつ、25年4月からは東京でもテスト走行を開始。6月にはAIコーディングアシスタント「Gemini CLI」の提供を開始するなど、開発者向けツールを拡充した。
- **独禁当局と係争中、事業分離を提案**：米司法省とは独禁法違反の是正策としてウェブ閲覧ソフト「クローム」事業の売却を求めて係争中だが、2025年後半にも判決が出る予定である。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)	
株 価(米ドル)	211.64 (08/28)	実績PER	24.8 (倍)
52週高値(日付)	212.22 (25/08/28)	株価売上高比率	7.0 (倍)
52週安値(日付)	140.53 (25/04/07)	PBR	7.1 (倍)
時 価 総 額	2兆5,638億ドル 376兆7061億円	税前配当利回り(%)	0.40 (直近年率)
株価変化率(%)	24.3 (過去6ヶ月間) 30.0 (過去1年間)	配当成長率(%)	305.0 (過去1年間)
		株主資本利益率(ROE)	34.8 (%)
		株式ベータ	1.05 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60
四半期業績								
2024/Q2	84,742	—	27,425	—	23,619	—	1.89	0.20
2025/Q2	96,428	14	31,271	14	28,196	19	2.31	0.21

アマゾン・ドット・コム(AMZN)

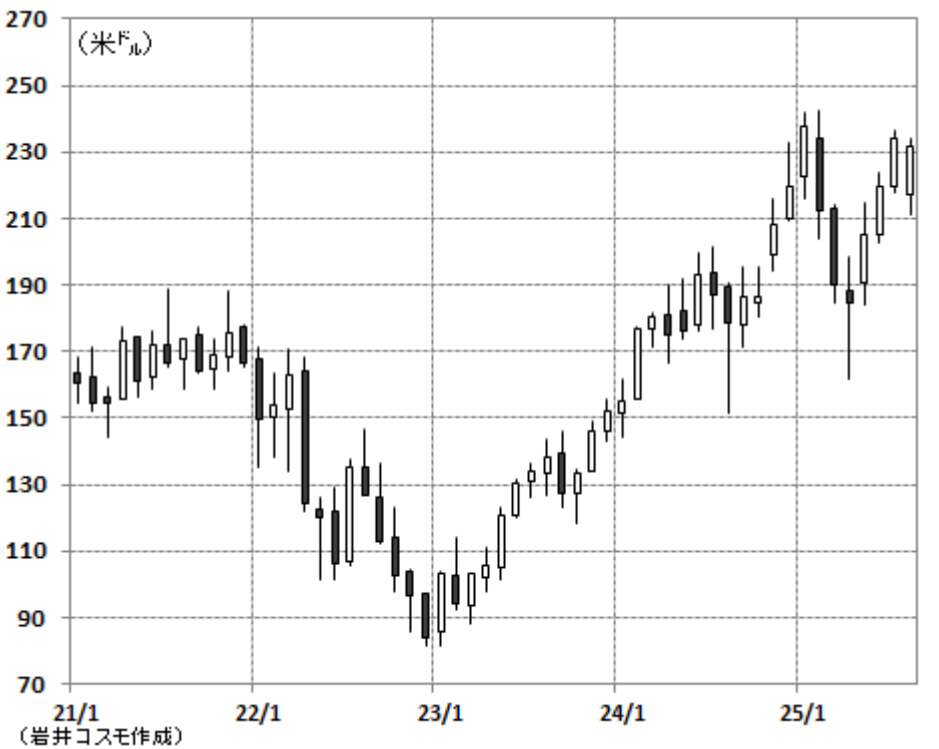
ナスダック

インターネット小売

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

会社概要
インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント
□ **増収増益決算続く**：4-6月決算は前年同期比35%最終増益で着地した。生成AI需要が貢献しAWS(クラウド)事業は、競合他社に見劣りしたものの、17.5%増収を実現、投資増で利益率は32.9%となった。高収益の広告事業は22%増収と成長が再加速。小売事業では出品者比率が過去最高の62%に達したほか、配送効率の改善が継続し、7月の特売セールも過去最大規模となった。
□ **食料品を強化**：既存の当日配送網を活用し、一般商品と同じ物流拠点で生鮮食料品や冷凍食品を提供する。これまで大都市中心だったサービスを25年末迄に米国内2300超の都市へ拡大。別サイトの「アマゾンフレッシュ」が通常サイトと統合され、利便性を高める狙いある。

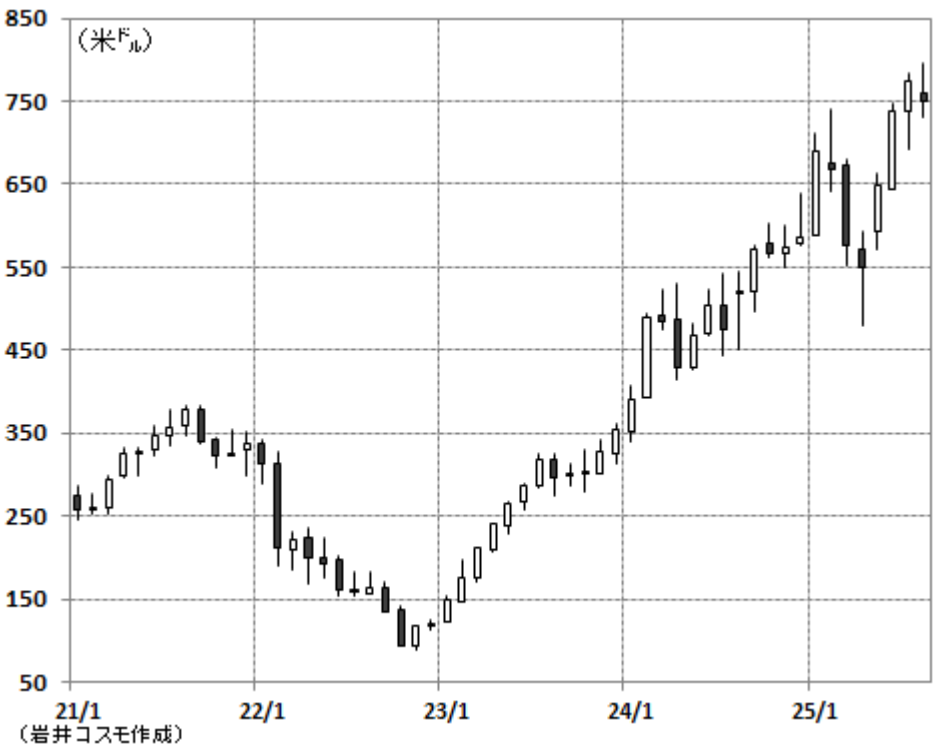


株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	231.6 (08/28)	実績PER	35.3 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	242.51 (25/02/04)	株価売上高比率	3.7 (倍)	2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
52週安値 (日付)	161.56 (25/04/07)	PBR	7.4 (倍)	2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
時 価 総 額	2兆4,700億 ^{ドル} 362兆9162億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	— (過去1年間)	2024/Q2	147,977	—	14,672	—	13,485	—	1.26	0.00
株価変化率(%)	9.1 (過去6ヶ月間) 35.6 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	24.8 (%)	2025/Q2	167,702	13	19,171	31	18,164	35	1.68	0.00
		株式ベータ	1.26 (対S&P500)									

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagramなども含む)は全世界で34.8億人(25年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は75,945人(25年6月末時点)。

- 注目ポイント
- AI活用で収益拡大に貢献：4-6月期の前年同期比・増収率は+22%と成長加速。InstagramやFB内の短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。AI活用によりターゲット広告の性能が増し、広告単価が上昇した他、動画広告の視聴時間が伸び、広告表示回数の伸びも加速した。また社内業務にAIを導入しコスト抑制が進み、営業利益率の改善に繋がった。
 - 超知能開発を強化：AI研究人材の新規採用を8月後半に凍結、AI部門を再編。言語モデル「Llama(ラマ)」開発チームを解散して新たに4チーム体制で、スーパーインテリジェンス(超知能)の開発を加速させる。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	751.11 (08/28)	実績PER	27.2 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	796.21 (25/08/15)	株価売上高比率	10.6 (倍)	2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
52週安値 (日付)	479.89 (25/04/21)	PBR	9.7 (倍)	2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	2.00
時 価 総 額	1兆8,869億 ^{ドル}	税前配当利回り(%)	0.28 (直近年率)	四半期業績								
	277兆2414億円	配当成長率(%)	105.0 (過去1年間)									
株価変化率(%)	12.4 (過去6ヶ月間)	株主資本利益率(ROE)	40.6 (%)	2024/Q2	39,071	—	14,847	—	13,465	—	5.16	0.50
	45.3 (過去1年間)	株式ベータ	1.16 (対S&P500)	2025/Q2	47,516	22	20,441	38	18,337	36	7.14	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

会 社 概 要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。24年のEV納車台数は前期比1%減の179万台。CEOのイーロン・マスク氏はトランプ大統領と関係性が深く、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種指数採用銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**マスク氏企業経営に専念**：マスク氏の政治上の極端な発言によるイメージ悪化や競争激化を背景にEV販売が低迷が続く。マスク氏はDOGE(政府効率化省)業務を終了して企業経営に専念、5年後もテスラのCEOでいる見通しを示した。6月にトランプ大統領とSNS上で減税法案を巡り口論、袂を分かった格好。自動運転の規制緩和のみが成果となった。

□**ロボタクシー事業に傾斜**：4-6月期決算では米国の7,500ドルのEVの購入補助金が9月で終了し、EV事業については厳しい見方を示した一方、6月にテキサス州オースチンでロボタクシー-商業サービス開始。ロボタクシーを25年末までに米国人口の約半分をカバーする地域で展開する考え。専用設計のロボタクシー「サイバーキャブ」は26年の量産開始を目指す。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	345.98 (08/28)
52週高値(日付)	488.5 (24/12/18)
52週安値(日付)	202.595 (24/08/28)
時 価 総 額	1兆1,159億ドル 163兆9652億円
株価変化率(%)	18.1 (過去6ヶ月間) 68.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	216.6 (倍)
株価売上高比率	12.0 (倍)
PBR	14.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.4 (%)
株式ベータ	1.56 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00

四半期業績

2024/Q2	25,500	—	1,605	—	1,400	—	0.40	0.00
2025/Q2	22,496	-12	923	-42	1,172	-16	0.33	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

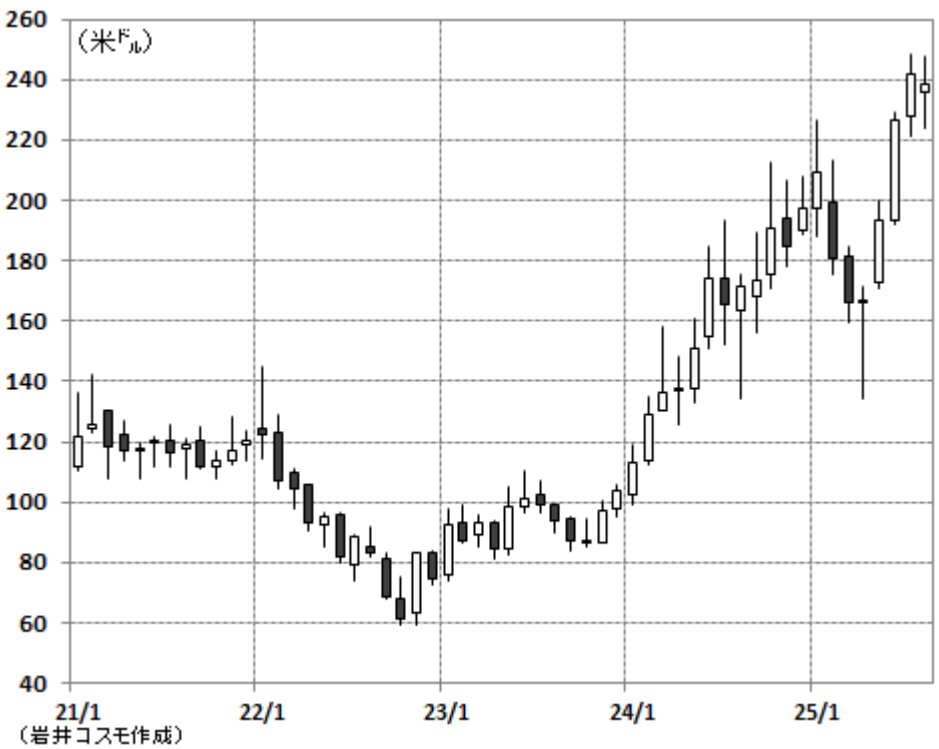
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2024年には522の顧客企業を対象に11,878個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□ **先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエスビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで6割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□ **AI需要を追い風に上方修正**：4-6月期決算で25年通期の売上高見通しを従来の「20%台半ば」から「30%前後の伸び」に上方修正。エスビディア等のAI半導体需要が旺盛で、3nmや5nmといった先端プロセスへの需要は極めてタイトな状況が続くと強調した。米政府による半導体高関税はアリゾナ州工場の大規模投資を理由に免れる見通し。



株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	238.27 (08/28)	実績PER	25.8 (倍)	決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
52週高値 (日付)	248.25 (25/07/17)	株価売上高比率	11.1 (倍)	2023/12	2,161,736	—	921,466	—	851,740	—	164.24	57.50
52週安値 (日付)	134.26 (25/04/07)	PBR	8.2 (倍)	2024/12	2,894,308	34	1,322,053	43	1,158,380	40	223.37	75.00
時 価 総 額	1兆2,358億 ^{ドル} 181兆5759億円	税前配当利回り(%)	1.40 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	32.0 (過去6ヶ月間)	配当成長率(%)	32.3 (過去1年間)	2024/Q2	673,510	—	286,556	—	247,846	—	47.80	20.00
	40.8 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	34.9 (%)	2025/Q2	933,792	39	463,423	62	398,273	61	76.80	25.00
		株式ベータ	1.44 (対S&P500)									

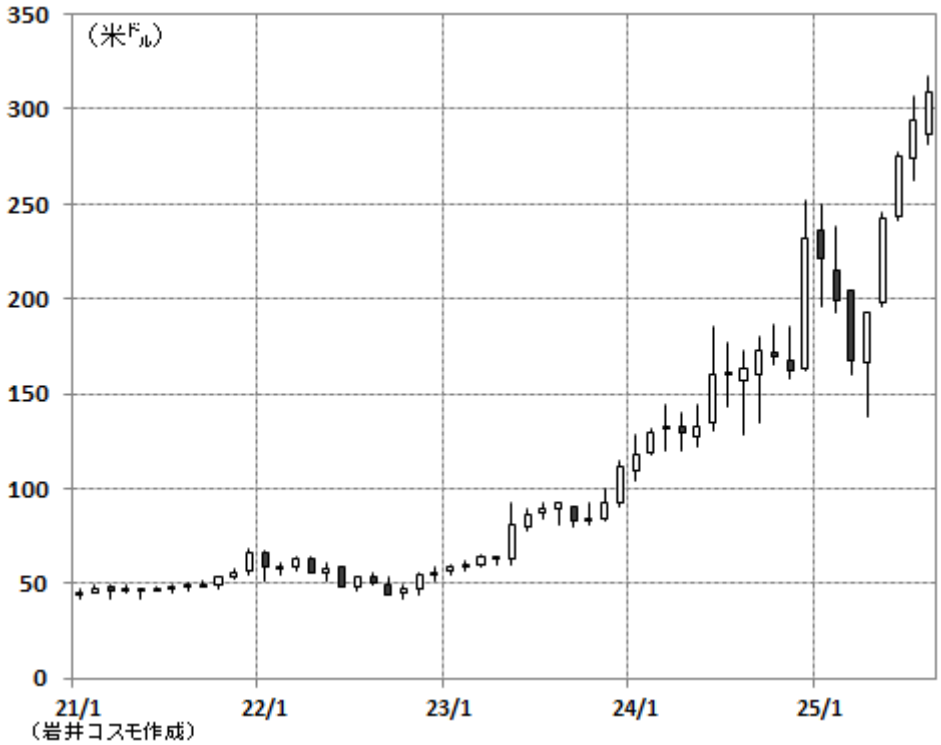
通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

- カスタム半導体等のAI半導体を供給**：巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。
- AI半導体の顧客増加で業界優位に**：カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は2-4月に前年同期比46%増の46億ドル、5-7月は同60%増の51億ドルを見込む。XPUはIT大手3社に27年末まで各々100万個を出荷する予定、また別の4社がAIアクセラレータを開発中で計画は進展中とした。AI半導体を相互接続する光電融合技術の半導体(CPO)の開発に注力中。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	308.65 (08/28)
52週高値(日付)	317.24 (25/08/13)
52週安値(日付)	134.91 (24/09/09)
時 価 総 額	1兆4,517億ドル 2,13兆3,021億円
株価変化率(%)	54.8 (過去6ヶ月間) 95.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	78.5 (倍)
株価売上高比率	25.4 (倍)
PBR	20.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.76 (直近年率)
配当成長率(%)	13.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.5 (%)
株式ベータ	1.91 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
四半期業績								
2024/Q2	12,487	—	2,965	—	2,121	—	0.44	0.525
2025/Q2	15,004	20	5,829	97	4,965	134	1.03	0.590

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

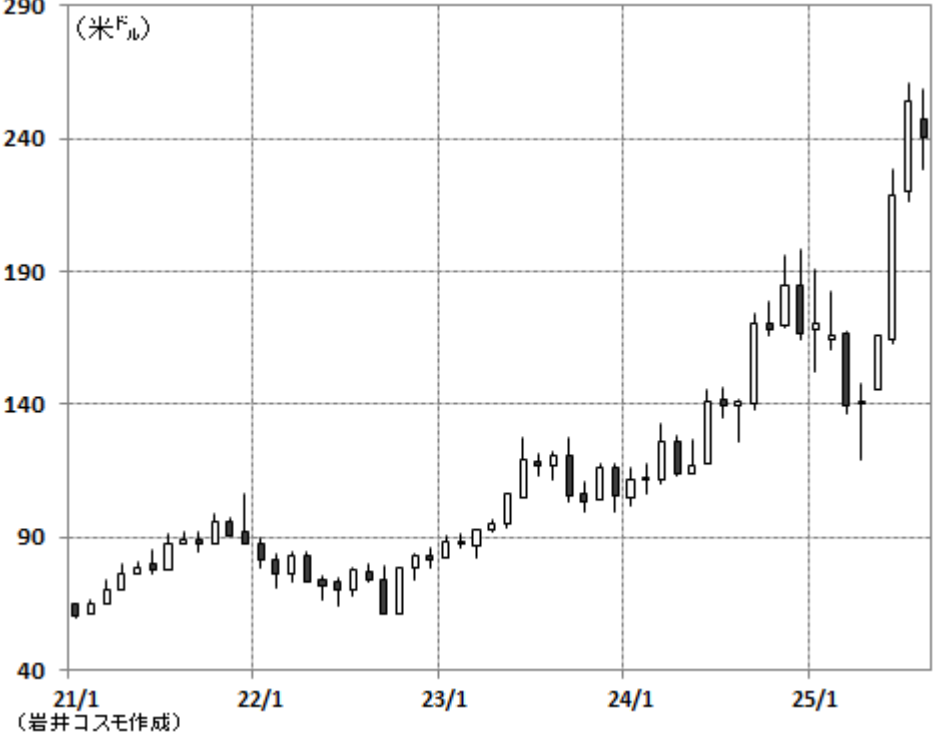
会 社 概 要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのヒールソフト買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

注 目 ポ イ ン ト

マルチクラウド戦略でクラウド市場で大躍進：オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できる様にし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。マルチクラウドデータセンターは現在23カ所あるが、今後12カ月で47カ所を建設する計画。

スターゲート計画も上乘せ：米政府が支援するAIインフラ整備事業の「スターゲート計画」は一部が受注残に反映され始めた段階。26年5月期売上見通しは前期比17%増の670億ドルとし、クラウド収入全体の伸びが4割超、うちクラウドインフラ部門が同7割超となる見通し。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	240.32 (08/28)
52週高値(日付)	260.77 (25/07/31)
52週安値(日付)	119.01 (25/04/07)
時 価 総 額	6,750億ドル 99兆1,805億円
株価変化率(%)	44.7 (過去6ヶ月間) 74.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	54.3 (倍)
株価売上高比率	11.7 (倍)
PBR	33.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.83 (直近年率)
配当成長率(%)	12.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	85.4 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70
四半期業績								
2024/Q4	14,287	—	4,686	—	3,143	—	1.11	0.40
2025/Q4	15,903	11	5,109	9	3,427	9	1.19	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

会社概要
1910年設立。老舗企業でコンピューターサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960～70年代にメインフレーム(大型汎用コンピューター)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント
□ **ハイブリッドクラウドとAIを強化**：2019年にオープンソースソフト大手レッドハットを買収後、ITインフラ事業を分社化し、自社運用とクラウドを融合した「ハイブリッドクラウド」とAI分野へ経営資源を集中。また日本の次世代半導体企業ルピダスへの技術供与も行うほか、29年までに耐障害性量子コンピュータを構築するロードマップも発表。現在の主力事業を強化しつつ、次世代のコンピューティング分野でリーダーシップ確立を目指す。
□ **生成AIの受注増加**：25年6月末時点のワトソンXプラットフォームやAIコンサルなどの生成AI関連事業の累計受注額は75億ドルを超え、3月末の65億ドルから3ヶ月で10億ドル以上増加し順調。新型メインフレーム「IBM Z」の投入効果も貢献して今期は前期比5%増収を見込む。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	245.73 (08/28)	実績PER	22.7 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値 (日付)	296.1 (25/06/25)	株価売上高比率	3.6 (倍)	2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63
52週安値 (日付)	197.54 (24/08/28)	PBR	8.3 (倍)	2024/12	62,753	1	5,797	-33	6,023	-20	6.43	6.67
時 価 総 額	2,289億 ^{ドル} 33兆6,326億円	税前配当利回り(%)	2.73 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)	2024/Q2	15,770	—	2,219	—	1,834	—	1.96	1.67
株価変化率(%)	-2.7 (過去6ヶ月間) 23.8 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	22.6 (%)	2025/Q2	16,977	8	2,597	31	2,194	20	2.31	1.68
		株式ベータ	0.71 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

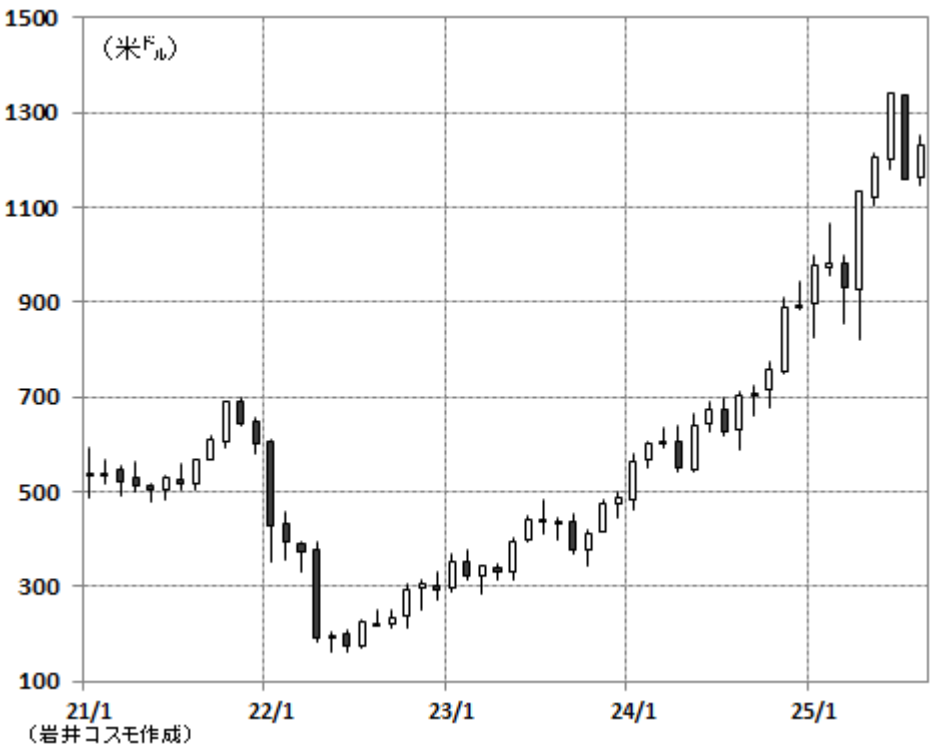
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注目ポイント

□**時価総額1兆ドル目指す**：3月の年次経営会議で2030年までに時価総額1兆ドルを達成し、売上高を2倍にすることを目標に掲げたと報じられた。30年までに通期売上高を24年の390億ドルから倍増させ、うち広告収入は約90億ドルに拡大させるという。25年4-6月期も収益性改善を伴う2桁増収・増益が続いた。会員数の堅調な伸びや値上げ、広告収入の増加が寄与。25年通期の売上高見通しを従来の435億-445億ドルから448億-452億ドルへと上方修正した。

□**人気作続編やスポーツ強化**：年後半は「ウェズデー」や「ストレンジャーシングス未知の世界」の人気シリーズを配信予定。スポーツコンテンツ強化の一環で26年のWBC(野球)の日本の独占放映権を獲得した。



株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	1231.45 (08/28)	実績PER	51.9 (倍)
52週高値 (日付)	1340.925 (25/06/30)	株価売上高比率	12.6 (倍)
52週安値 (日付)	661 (24/09/11)	PBR	21.0 (倍)
時 価 総 額	5,233億ドル 76兆8,849億円	税前提当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	25.6 (過去6ヶ月間) 80.1 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	43.5 (%)
		株式ベータ	1.14 (対 S&P500)

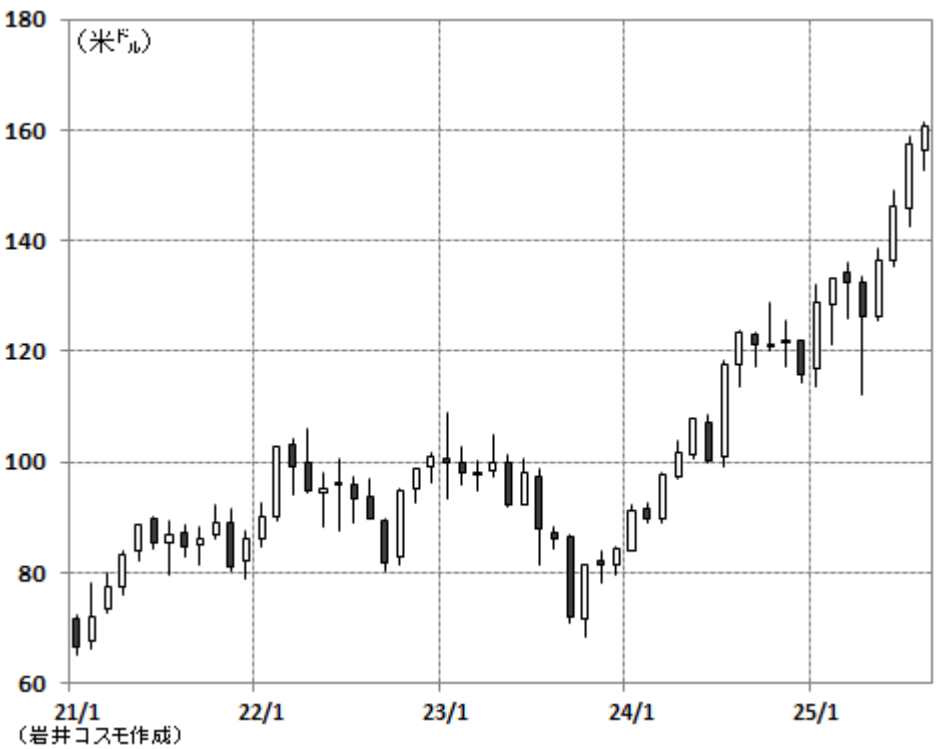
通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83

四半期業績							
2024/Q2	9,559	—	2,603	—	2,147	—	4.88
2025/Q2	11,079	16	3,775	45	3,125	46	7.19

会社概要

米国の防衛・航空宇宙関連機器メーカ。旧ユナイテッド・テクノロジーズがエレベーター部門(現オチス)と空調部門(現キャリア)を分離し、残った防衛・航空宇宙部門が同業のレイセオンと対等合併して誕生。主要事業部門【カッコ内は24年売上構成比】は、コリンズ・エアロスペース・システムズ(航空部品【32%】)、プラット&ホイットニー(航空エンジン【35%】)、レイセオン(センサー、サイバー&ソフトウェア、軍事・防衛【33%】)の3部門からなる。

- 注目ポイント
- 民生から防衛まで事業は多岐：傘下のプラット&ホイットニーはGEアビエーションや英ロールス・ロイスとともに航空機用エンジンの世界ビッグ3の一角でボーイングや欧州エアバス等に供給。軍用部門では世界1位のミサイルメーカーであり、巡航ミサイル「トマホーク」や広域防空用の地対空ミサイル「パトリオット」、対戦車誘導ミサイルシステム「ジャベリン」等が有名。
 - 次世代ミサイル防衛構想：トランプ大統領が推進する次世代ミサイル防衛構想「ゴールデンドーム」は、地球の軌道上に衛星と兵器の巨大ネットワークを構築する構想であり、プロジェクト予算の一部が現在、包括法案に盛り込まれ協議中。同社をはじめ、L3ハリスやロッキード・マーチン、パランティアなどが既に契約企業の候補として報じられている。

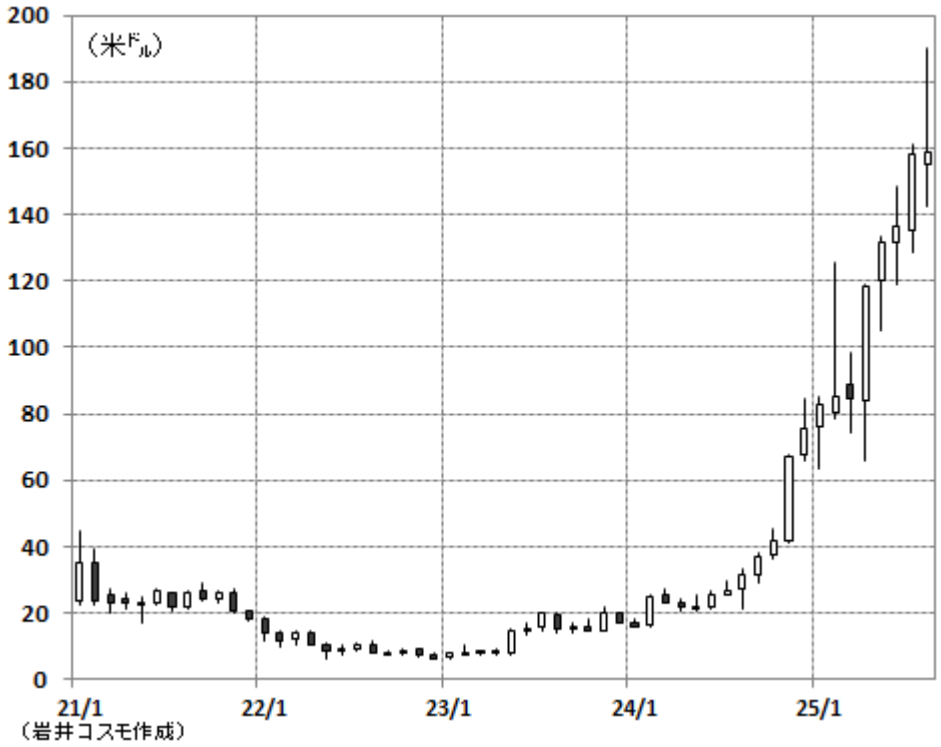


株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	160.66 (08/28)	実績PER	27.3 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	161.23 (25/08/28)	株価売上高比率	2.6 (倍)	2023/12	68,920	3	3,561	-35	3,195	-39	2.23	2.32
52週安値 (日付)	112.31 (25/04/07)	PBR	3.4 (倍)	2024/12	80,738	17	6,538	84	4,774	49	3.55	2.48
時 価 総 額	2,151億 ^{ドル} 31兆5,973億円	税前配当利回り(%)	1.69 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	7.4 (過去1年間)	2024/Q2	19,721	—	529	—	111	—	0.08	0.63
株価変化率(%)	20.8 (過去6ヶ月間) 33.0 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	10.1 (%)	2025/Q2	21,581	9	2,146	306	1,657	15倍	1.22	0.68
		株式ベータ	0.69 (対S&P500)									

会社概要
データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カープ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント
□ **祖業はテロ対策**：2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近では生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウントリ」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で世界の約90の業界で導入が進む。

□ **高成長要因**：25年6月の政府・民間顧客数は前年比約4割増の849と急増中。飛躍の要因は、各地の紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービスの需要の拡大など。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19	0.00
四半期業績								
2024/Q2	678	—	105	—	134	—	0.06	0.00
2025/Q2	1,004	48	269	156	327	144	0.13	0.00

株価データ		株価指標 (バリュエーション)	
株 価 (米ドル)	158.12 (08/28)	実績PER	527.6 (倍)
52週高値 (日付)	190 (25/08/12)	株価売上高比率	106.7 (倍)
52週安値 (日付)	29.31 (24/09/04)	PBR	63.3 (倍)
時 価 総 額	3,751億ドル 55兆1,156億円	税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
株価変化率 (%)	86.2 (過去6ヶ月間) 420.8 (過去1年間)	配当成長率 (%)	— (過去1年間)
		株主資本利益率 (ROE)	15.3 (%)
		株式ベータ	1.96 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

天然ガスタービン等を主力とする電力設備世界大手、「エネルギー転換の巨人」との異名も

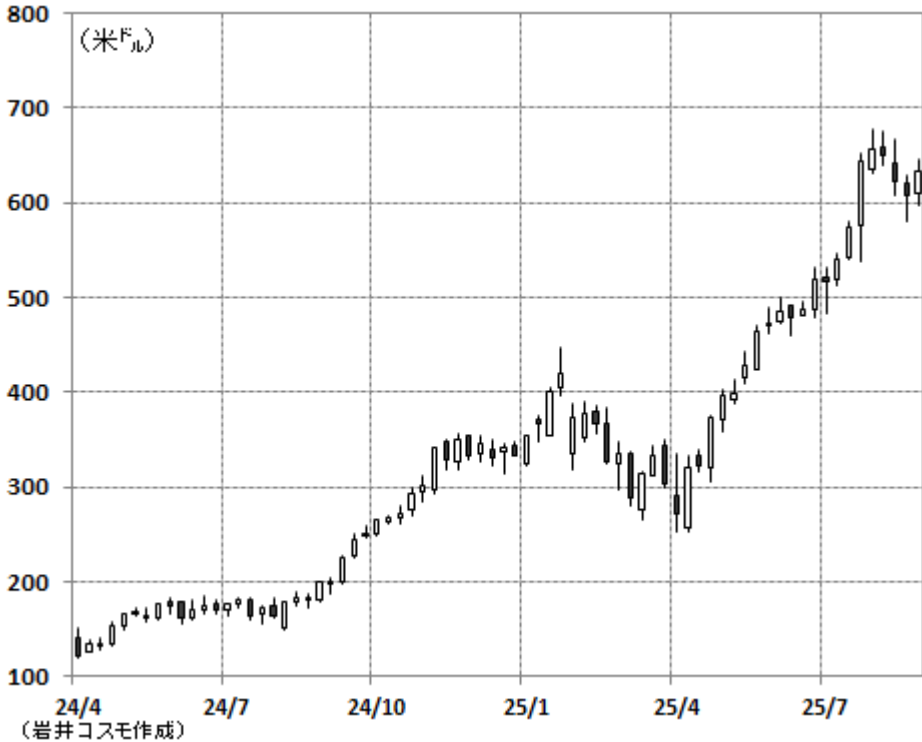
会 社 概 要

トマス・エジソン氏による初の商用発電所建設(1882年)以来、長く発電設備を提供してきた世界的企業。ゼネラル・エレクトリックの組織再編に伴い、24年4月に分社手続きを完了。発電設備以外に送電/変電/蓄電等の電化関連も製造。再生可能エネルギー分野ではガス/原子力/水力/蒸気発電設備、また風力タービンやブレード等まで取り扱う。100カ国超で製品展開、社員数は約75,000名(24年末)。

注 目 ポ イ ン ト

□「**エネルギー転換の巨人**」: GEベルノバは発電から送配電、再生可能エネルギー分野までエネルギー転換に必要な要素を幅広くカバーし、グローバル展開できる規模と技術力を持つ企業として「エネルギー転換の巨人」と評価する声も聞かれる。

□**業績好調**: 24年売上高全体の54%が製品売上、46%がサービス収入の構成で事業の安定性は比較的高い。電力会社と長期契約を結び、事業基盤を確立、特に電力事業売上の7割が保守・点検等のサービス収入を占め、現金収支の黒字のほとんどを稼ぐ。発電源別では天然ガス関連が多い。また電化事業は高成長で収益改善が進行中。電力需要の急増でガスタービンの納期が大幅に延びている。



株 価 チ ャ ー ト (分離上場来・週足)

株価データ	
株 価(米ドル)	633.69 (08/28)
52週高値(日付)	676.98 (25/07/31)
52週安値(日付)	180.9 (24/08/28)
時 価 総 額	1,725億 ^{ドル} 25兆3,462億円
株価変化率(%)	89.1 (過去6ヶ月間) 244.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	134.7 (倍)
株価売上高比率	4.8 (倍)
PBR	19.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.16 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.9 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	33,239	12	-923	赤継	-438	赤継	-1.60	0.00
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.25
四半期業績								
2024/Q2	8,204	—	527	—	1,294	—	4.65	0.00
2025/Q2	9,111	11	378	-28	514	-60	1.86	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

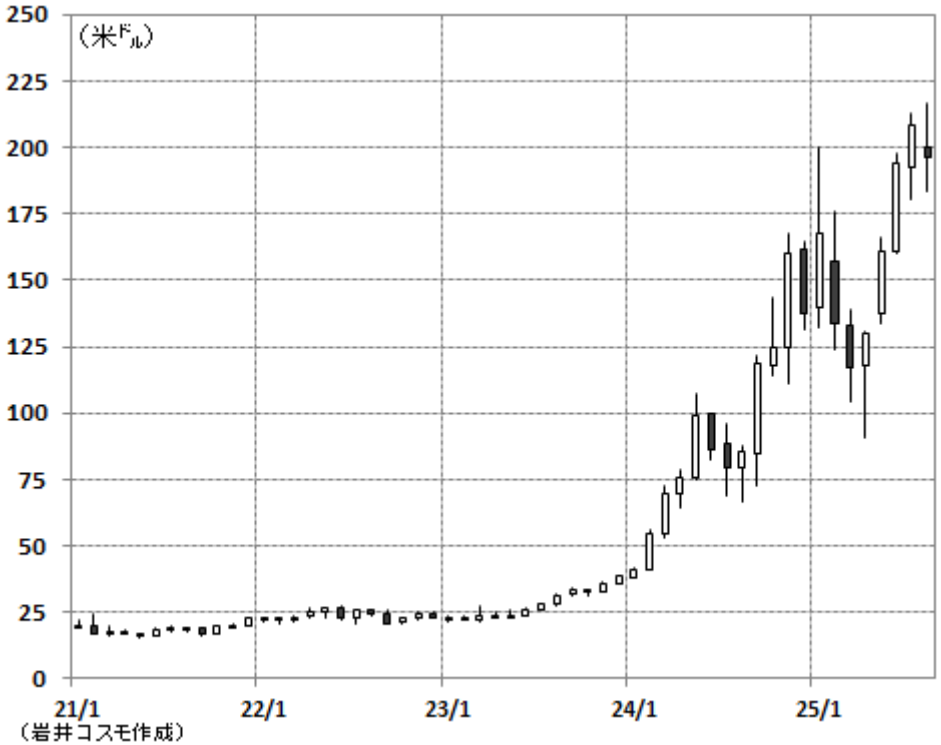
会 社 概 要

テキサス州拠点のエネルギー会社。子会社を通じて電力・天然ガスの小売販売に従事。ほか原子力・天然ガス・太陽光等の発電事業も手がける。全米20州とコロンビア特別区でサービスを提供。小売事業は子会社であるTXUエナジーなど5社がテキサス州中心に展開。一方、発電事業はビストラが天然ガス/原子力/再生可能エネルギー等の発電施設を運営、最終的にゼロカーボン発電を目指す。S&P500指数構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**M&Aで原子力発電所取得**：24年3月に同業のエネルギー・ハーバーを買収し、米東部の原発施設3カ所(発電能力約4,000メガワット相当)を取得。独立系電力会社の原子力発電所保有数でコンステレーション・エナジーに次ぐ第2位となり、発電能力に占める原子力の割合が高まった。他、原発以外では天然ガスによる火力発電能力を増強中で、27年にテキサス州の火力発電所を石炭から天然ガスに転換する予定。

□**米国で注目される原発**：AI利用増によるデータセンターの電力需要の高まり、温暖化ガスを排出しない、24時間365日、安定的に電力供給できる「ベースロード電源」としての原子力発電が見直されている。5月23日にトランプ氏は原発建設を加速させる大統領令に署名した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	196.7 (08/28)
52週高値(日付)	216.85 (25/08/05)
52週安値(日付)	72.91 (24/09/09)
時 価 総 額	666億ドル 9兆7,923億円
株価変化率(%)	47.2 (過去6ヶ月間) 138.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	41.6 (倍)
株価売上高比率	3.6 (倍)
PBR	28.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.46 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	80.4 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	14,779	8	2,661	黒転	1,343	黒転	3.58	0.8210
2024/12	17,224	17	4,081	53	2,467	84	7.00	0.8740
四半期業績								
2024/Q2	3,845	—	808	—	318	—	0.90	0.2175
2025/Q2	4,250	11	515	-36	280	-12	0.81	0.2250

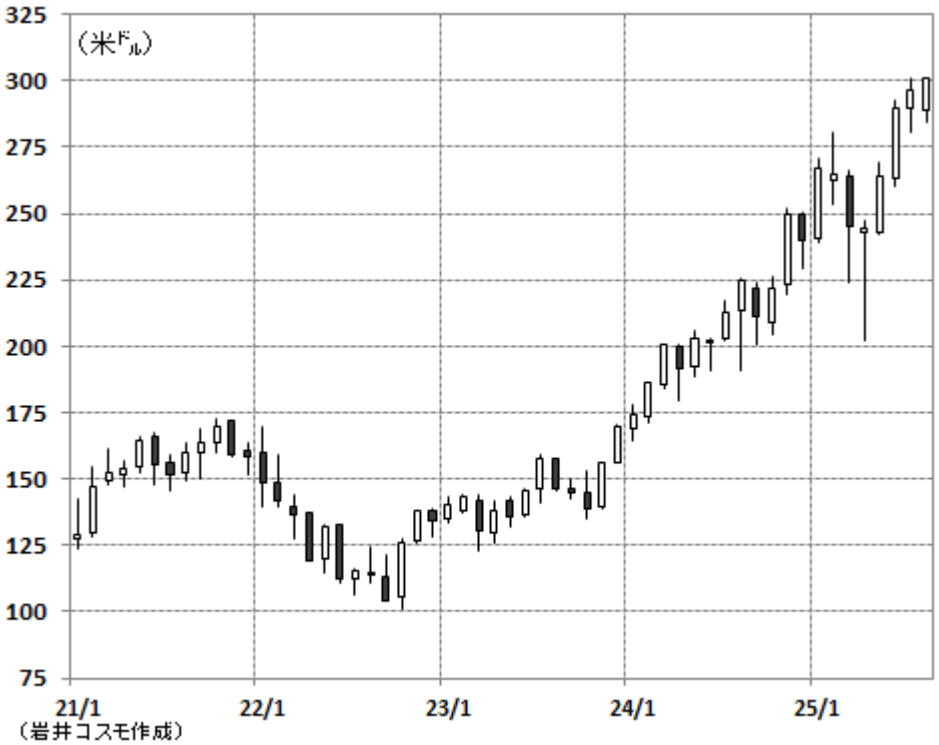
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

世界有数のグローバル総合金融グループ。投資銀行、証券取引、資金決済、資産運用、プライベートバンキング、商業銀行等の各種サービスを提供。機関投資家向け事業を「JPモルガン」ブランドで、中小企業・個人向け事業を「チェース」ブランドで展開する。総資産、収益力、時価総額で世界屈指の規模を誇る。本社はニューヨーク市、従業員数は317,160人(25年6月末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

- 注目ポイント**
- 業界で一早くAIを活用：同行はAIを業界内で一早く取り入れ、業務効率の向上、リスク管理の強化、顧客体験の改善等を通じて最終的にROEなどの資本効率の高さに貢献していると見られる。具体例に法的文書の分析自動化ツールによる費用削減や決済システム上の異常取引の感知、迅速な回答が可能なコールセンター運営等がある。
 - 今年も株主還元を強化：7月1日のFRBストレステスト結果公表後、7.1%の増配(四半期配当1.40→1.50ドル)と、500億ドルの自社株買いを発表した。FRBは10月に同行に義務付けるストレス資本バッファ(SCB)を従来の3.3%から2.5%に引き下げる予定。資金運用等の面で経営の自由度が増す格好となる。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	301.07 (08/28)
52週高値(日付)	301.215 (25/08/28)
52週安値(日付)	200.61 (24/09/10)
時 価 総 額	8,279億ドル 1,216,387億円
株価変化率(%)	13.8 (過去6ヶ月間) 36.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	15.5 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	2.5 (倍)
税前配当利回り(%)	1.86 (直近年率)
配当成長率(%)	20.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.9 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

通期業績								
決算期	純営業収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	158,104	23	61,612	33	47,760	33	16.23	4.05
2024/12	177,556	12	75,081	22	56,868	19	19.75	4.60
四半期業績								
2024/Q2	50,200	—	23,435	—	17,718	—	6.12	1.15
2025/Q2	44,912	-11	18,284	-22	14,630	-17	5.24	1.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米製薬大手、新型コロナ関連依存から脱却、コスト削減計画を推進中

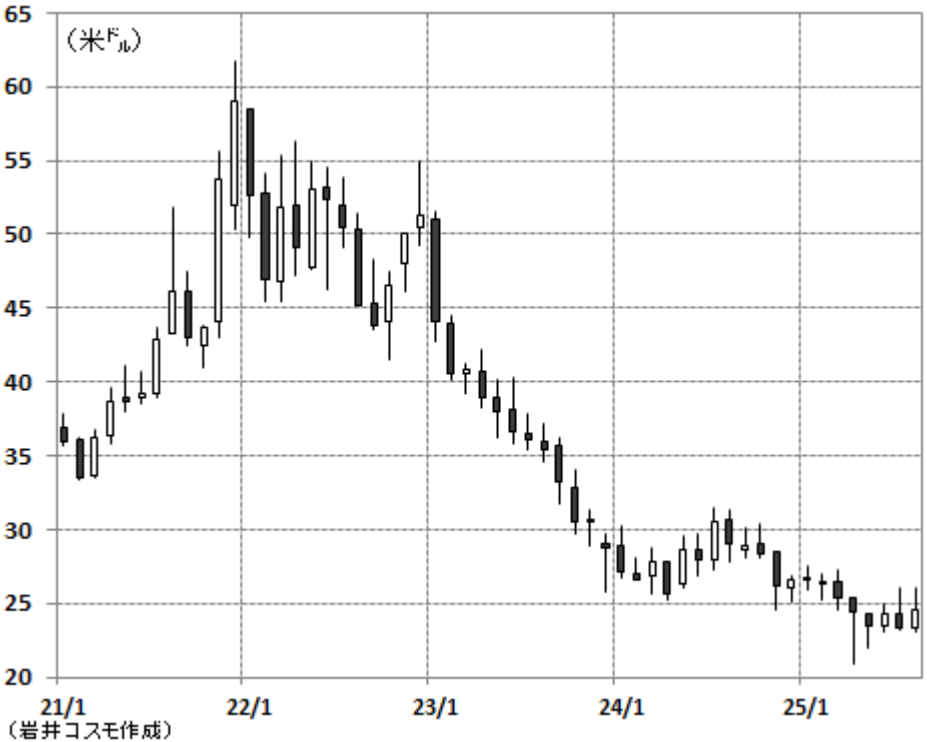
会 社 概 要

販売力に定評のある米製薬大手。近年は新型コロナのワクチン、抗ウイルス薬で存在感を示す。M&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行し、2019年に消費者向けヘルケア部門を非連結化、20年に特許切れ部門を分離し、新薬開発・販売に傾斜。23年12月には米シ-ジェン社を買収、がん分野を強化した。本社は、ニューヨーク、社員数は約81,000名(24年末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

□**コスト削減計画推進中**：4-6月期は売上高が10%増の146.5億ドルと市場予想を上回った。27年末までに累計約72億ドルのコスト削減計画も順調で、販売管理費8%減・研究開発費9%減が利益率改善に貢献。希少疾患治療薬ビンダケルは22%増と堅調に推移した。

□**配当維持・増加方針**：関税等の影響を反映し、今期売上高見通し(610億-640億ドル)は据え置いたが、調整後1株利益を従来の2.80~3.00ドルから2.90~3.10ドルに上方修正。同社は米国内10カ所の製造拠点を活用し、悪影響を緩和する柔軟性も持つ。資本配分は配当維持・成長を優先し、上半期に49億ドルを株主還元した。



株 価 チ ャ ー ト (2021年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	24.6 (08/28)
52週高値(日付)	30.425 (24/10/09)
52週安値(日付)	20.915 (25/04/09)
時 価 総 額	1,399億ドル 20兆5,503億円
株価変化率(%)	-6.9 (過去6ヶ月間) -14.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	9.2 (倍)
株価売上高比率	2.2 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	6.99 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.2 (%)
株式ベータ	0.57 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/12	59,553	-41	1,058	-97	2,119	-93	0.37	1.65
2024/12	63,627	7	8,023	658	8,031	279	1.41	1.69
四半期業績								
2024/Q2	13,283	—	-103	—	41	—	0.01	0.42
2025/Q2	14,653	10	3,044	黒転	2,910	71倍	0.51	0.43

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。